第8次宮城県医療計画(へき地医療)素案

【現状と課題】

- 1 宮城県のへき地医療の現状
- (1)無医地区等
 - ・無医地区、無歯科医地区数
 - ・無医地区、無歯科医地区の推移
- (2) へき地診療所
 - ・へき地診療所数
 - ・訪問診療の回数推移
- (3) へき地医療拠点病院
 - ・へき地医療拠点病院数
 - 代診医派遣の回数推移
- (4) へき地医療に従事する医師
 - ・へき地診療所等の医師
 - ・自治医科大学、東北医科薬科大学や東北大学の地域枠などを通じた人材の確保
 - ・ドクターバンク事業を通じた人材の確保
- (5) へき地を支援するシステム等
 - ・へき地医療支援機構
 - ・救急搬送体制、ドクターヘリ
 - ・離島と本土をつなぐ橋梁の整備
- 2 医療提供体制等の課題
 - ・へき地診療所の医師確保、設備整備、病院との連携等を通じた地域医療の確保
 - ・へき地医療拠点病院の代診医派遣等の診療支援機能の向上
 - ・へき地医療支援機構と医師育成機構との連携による、へき地医療体制の総合的な企画運営

【へき地医療機能の現況】

【目指すべき方向性】

無医地区等における地域住民の医療を確保するとともに、診療支援体制の整備を図ります。

【施策の方向】

- 1 医療提供体制の確保
- (1) へき地診療所による診療体制
 - ・へき地診療所の運営を支援
 - ・へき地診療所の施設・設備の整備を推進
- (2) 訪問診療による診療体制
 - ・へき地診療所等における訪問診療の設備整備を推進
 - ・訪問看護ステーションにおける訪問看護師の育成を支援
- 2 診療支援体制の整備
- (1) へき地医療拠点病院等の支援体制
 - ・へき地医療拠点病院が実施する代診医派遣、研修などを支援
 - ・病院・診療所間の連携や医師間による連携を図るため、遠隔 医療設備の導入を支援
- (2) 救急搬送体制の整備
 - ・救急艇の整備を支援
 - ・ドクターヘリを運用
- 3 へき地医療体制の総合的な企画運営
- (1) 医療従事者の確保体制
 - ・宮城県へき地医療支援機構と宮城県医師育成機構の連携、一体的な取組
 - ・自治医科大学や東北医科薬科大学、大学の地域枠を卒業した医師の勤務医療機関の指定
 - ・ドクターバンク事業による医師の確保
 - ・研修会や講演の実施などにより、医療従事者の確保

【数値目標】

- ・へき地医療拠点病院の中で主要3事業の年間実績が合算で12回以上の医療機関の割合
- ・へき地医療拠点病院の中で必須事業の実施回数が年間1回以上の医療機関の割合